

皆さん「かえっこバザール」というイベントをご存じですか？「かえっこ」は、子どもたちが使わなくなったおもちゃを持ち寄り、他の子の持ってきたおもちゃと交換できる「物々交換」のような楽しいイベントです。チャイケモもハウスの建設前から実施していたこのイベントを、昨年10月28日、ポートアイランドにある兵庫医療大学の施設をお借りして久しぶりに行いました。

神 戸・ポートアイランドにハウスができて6年が過ぎ、チャイケモと関わってくれるお子さんやご家族もだんだん増えてきました。そんな中、病気の子も元気に過ごしている地域の子も、みんなと一緒に楽しめるイベントを何かやりたいね、そんな思いから今回の企画は始まりました。今回「かえっこ」のために登場したキャラクターは忍者の「チャイケモはんぞう」くん。治療のために髪が抜けたり、感染予防のためにマスクが必要だったりする子でも、忍び装束だとみんなと一緒に。そんな楽しいアイデアから生まれました。また、以前から病気のお子さんやご家族を支援する活動を通じて交流のあった仲間の団体さんからも「ぜひ一緒にやりましょう！」と心強いご協力が得られました。そんな皆さんからも楽しいアイデアがたくさん飛び出し、いざ当日へ…！

実施報告！

第1回

チャイケモのかえっこバザール



日は、集めたポイントを持って会場に来てくれるご家族も。実際に会場に来るのが難しいお子さんとは、インターネットを通してボランティアさんとやりとりしながらイベントをバーチャル体験できる生中継が行われました。初めての試みでしたが、タブレットの向こうでも楽しんでくれるお子さんの様子が見られ、「会場にいるみたい楽しかった！」といった感想も寄せられました。



場で楽しむお子さんたちに混じって、タブレットを持ったチャイケモのボランティアさんが各コーナーをめぐる姿が。これは今回新しく始めた、病院やお家で過ごす病気のお子さんやそのごきょうだいにイベントを楽しんでもらう取り組みです。こちらはイベントの数か月前からスタートしました。毎日お薬を飲んだり、注射を受けたりとつらいことも頑張っているお子さんたち。そんな子どもたちのお家に、はんぞうくんからのお手紙が届きます。内容は自分の「がんばり」を「かえっこ」で使えるポイントにしちゃおう！という、はんぞうくんからのミッション。病気のお子さんやきょうだいさんは、日々ポイントを集めながら当日を楽しみにしてくれていました。



持ちのいい秋晴れの中、おもちゃを抱えたお子さんやご家族が次々に会場へ来てくれました。入口でお出迎えするのは元読売テレビアナウンサーの清水健さん。お話や記念撮影をしたり、ご案内をしたりとフル回転の活躍で皆さんを喜ばせてくれました。それに、会場には本物の忍者さんも！協力団体さんのご縁ではるばる伊賀からのお越しです。手裏剣投げやチャンバラ体験ができる忍術道場は大人気。真剣なお子さんたちの表情が見られました。



持ってきたおもちゃとの交換だけでなく、会場でいろいろな体験をしておもちゃと交換できるポイントを集められるコーナーでは、楽しい工作やゲーム、クイズなどに挑戦できます。お子さんたちは忍者に変身したり、自分の作品をおみやげにしたり。レモネード屋さんやコーヒー屋さんの体験コーナーでは、店員さんになって道行く人やお父さん・お母さんに呼びかけたり、飲み物をふるまったりとみんな大はりきりでした。病気のお子さんをサポートする各団体の取り組みや、病気の子どもたちについての知識が盛り込まれた、工夫にあふれるコーナーがたくさん並びました。



イベントのおもちゃのオークションでは、みんなが欲しいスペシャルなおもちゃがオークション形式でやりとりされます。たくさんのお子さんが人だかりを作る中に、タブレット組も。中継で参加のお子さんが自分の「がんばりポイント」を使っておもちゃを競り落とす場面もありました。やったね！



今回の「かえっこ」にご協力いただいた団体さまは以下の通りです。本文では詳しくご紹介できなかった部分も多々ありますが、ご協力に心より感謝しています。
一般社団法人 清水健基金／小児がん支援団体 Wish Heart／NPO法人 しぶたね／COFFEE SHOP LANDMADE／オンライン院内学級 CA・YO・U プロジェクト (NINJA DOJO and STORE、hand made macaron)／特定非営利活動法人 プラス・アーツ／会場提供：兵庫医療大学 (順不同・敬称略)



「チャイケモのかえっこバザール」は続けて今年の秋にも開催が決定しました。チャイケモ流「みんなで」楽しめるイベントを目指して、はんぞうくんとチャイケモの仲間たちの冒険はまだ続きます。お近くの皆さんは、ぜひ遊びにいらしてくださいね！